

## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場会社名 ムトー精工株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7927 URL https://www.muto.co.jp  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 田中 肇  
問合せ先責任者（役職名） 取締役財務担当（氏名） 金子 貞夫 (TEL) 058(371)1100  
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月17日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	14,216	5.9	1,137	5.9	1,258	△13.7	863	△19.9
2024年3月期中間期	13,429	4.4	1,074	78.2	1,458	38.5	1,078	65.0

（注）包括利益 2025年3月期中間期 475百万円（△78.9%） 2024年3月期中間期 2,251百万円（5.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	121.85	—
2024年3月期中間期	151.97	—

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	29,700	18,687	59.6
2024年3月期	29,478	18,913	60.9

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 17,692百万円 2024年3月期 17,962百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	12.00	—	88.00	100.00
2025年3月期	—	20.00			
2025年3月期（予想）			—	73.50	93.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	2.6	2,300	25.9	2,300	△5.5	1,650	△6.9	232.85

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	7,739,548株	2024年3月期	7,739,548株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	689,655株	2024年3月期	643,255株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	7,086,093株	2024年3月期中間期	7,094,345株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における国内外の経済は、米国を中心に景気は持ち直しつつあり、日本においては訪日観光客の増加による消費の回復が見られるなど、経済活動の活性化が進んでおります。しかしながら、世界情勢の緊迫化や中国経済の後退、急激な円相場の変動、原材料やエネルギー価格の高止まりによる物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く業界におきましては、家電分野では、デジタルカメラカテゴリーにおいて付加価値の高いミラーレスカメラの需要が好調で、当社ではタイでデジタルカメラ部品の受注が増加を続けております。前期に好調だった自動車関連部品では、国の認証試験の不正問題に伴う生産停止などを背景に、得意先からの受注は減少に転じました。プリンター部品におきましては、コロナ需要からの反動により前期に減少していた得意先からの受注が、回復傾向にあります。電子ペン部品では、テレワークを背景とした需要は落ち着きましたが、一定の受注を維持しております。医療機器関連では、高齢化社会を背景とした医療ニーズの高まりに伴い、得意先から安定的に受注を獲得しております。

その結果、当中間連結会計期間における業績は、売上高は142億1千6百万円と前年同期と比べ7億8千6百万円(5.9%)の増収、営業利益は11億3千7百万円と前年同期と比べ6千2百万円(5.9%)の増益、円高の進行に伴い為替差益が2億7千9百万円減少したことなどにより、経常利益は12億5千8百万円と前年同期と比べ2億円(13.7%)の減益、親会社株主に帰属する中間純利益は8億6千3百万円と前年同期と比べ2億1千4百万円(19.9%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、自動車関連部品や金型では受注が減少したものの、デジタルカメラ部品やプリンター部品における受注増加に伴い、プラスチック成形事業全体の売上高は増加いたしました。一方、省人化・省力化を図り経費削減に努めましたが、物価上昇に伴い固定費が増加したことにより、減益となりました。その結果、当中間連結会計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて135億3千5百万円と前年同期と比べ6億7千7百万円(5.3%)の増収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は10億4千6百万円と前年同期と比べ4千6百万円(4.2%)の減益となりました。

#### ② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、医療機器部品の売上高は堅調に推移しており、自動車関連部品においても受注が回復傾向にあります。一方、デジタルカメラ部品では、受注が増加に転じつつあるものの、量産開始の遅れにより売上計画に影響が出ております。また、プレス鋼材の値上がりによる付加価値の圧迫が続いており、価格交渉を進めた結果、当中間連結会計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて4億9千8百万円と前年同期と比べ3千4百万円(7.4%)の増収となり、セグメント損失(営業損失)は4百万円(前年同期はセグメント損失(営業損失)2千9百万円)となりました。

#### ③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門では、減少傾向にあったセラミック基板の得意先からの受注が持ち直し、横ばいとなりました。一方、検査部門におきましては、自動車向けの各種センサーなどのセラミック基板の検査が好調で、検査機を増設し受注拡大に努め、大幅な増収となりました。その結果、当中間連結会計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて2億4千1百万円と前年同期と比べ9千2百万円(62.5%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は9千6百万円と前年同期と比べ8千4百万円(698.2%)の増益となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億3千6百万円減少し、194億3千2百万円となりました。現金及び預金が13億7百万円減少し、受取手形及び売掛金が7億6千9百万円、仕掛品が2億5百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4億5千8百万円増加し、102億6千7百万円となりました。有形固定資産が4億9千7百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ2億2千1百万円増加し、297億円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ4億3千8百万円増加し、79億2千1百万円となりました。支払手形及び買掛金が4億8千5百万円増加したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ9百万円増加し、30億9千1百万円となりました。長期借入金金が2千3百万円、繰延税金負債が3千5百万円それぞれ増加し、役員退職慰労引当金が5百万円、退職給付に係る負債が4千万円それぞれ減少したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ4億4千7百万円増加し、110億1千2百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億2千6百万円減少し、186億8千7百万円となりました。為替換算調整勘定が3億9千6百万円減少し、利益剰余金が2億3千9百万円増加したことなどが主な要因です。

## (キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、74億円となり、前年同期と比べ16億9千8百万円(18.7%)減少いたしました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前中間純利益12億5千万円、非資金費用である減価償却費6億5千5百万円、仕入債務の増加額6億8百万円及び売上債権の増加額8億7千2百万円、未払金の減少額2億6千8百万円などにより、営業活動全体として9億9千5百万円の収入となり、前年同期と比べ収入が12億2千5百万円(55.2%)の減少となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、定期預金の預入による支出5億7千2百万円、有形固定資産の取得による支出11億9千5百万円及び定期預金の払戻による収入9億6千5百万円などにより、投資活動全体として8億2千6百万円の支出となり、前年同期と比べ支出が4億7千6百万円(36.6%)の減少となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、長期借入金の返済による支出6億1千2百万円、配当金の支払額6億2千5百万円及び長期借入れによる収入5億円などにより、財務活動全体として8億4千万円の支出となり、前年同期と比べ支出が3億8千6百万円(85.2%)の増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間における業績の進捗状況等を勘案し、2024年5月13日に公表いたしました2025年3月期の連結業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日(2024年11月13日)公表の「通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

当期の見通しにつきましては、米国を中心に景気の回復が見られるものの、世界情勢の緊迫化を起因とする世界的な原材料やエネルギーの価格高騰及び物流の混乱が続いていることから、顧客の生産調整や新規製品の生産開始の遅れなど、当社の生産活動への影響は今後も続くことが見込まれます。また、今後の為替相場の動向は、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

このような状況の中、当社グループは、柔軟な生産体制を構築し事業環境の変化に備えると同時に、顧客各社の動向を注視し着実な受注活動を行い、世界情勢による様々なリスクに対応していく所存であります。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,260,655	8,953,345
受取手形及び売掛金	4,527,961	5,297,168
電子記録債権	700,724	701,937
商品及び製品	914,923	837,662
仕掛品	1,144,923	1,350,846
原材料及び貯蔵品	1,761,379	1,745,562
未収入金	162,070	171,216
その他	196,794	375,032
貸倒引当金	△810	△655
流動資産合計	19,668,622	19,432,116
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,691,656	2,573,636
機械装置及び運搬具(純額)	2,664,955	2,741,218
土地	2,060,274	2,105,527
リース資産(純額)	135,543	132,621
建設仮勘定	897,430	1,462,472
その他(純額)	535,530	467,793
有形固定資産合計	8,985,390	9,483,269
無形固定資産	220,088	246,902
投資その他の資産		
投資有価証券	267,862	231,751
繰延税金資産	117,640	115,776
その他	218,974	190,387
貸倒引当金	△125	△125
投資その他の資産合計	604,352	537,790
固定資産合計	9,809,831	10,267,962
資産合計	29,478,453	29,700,079

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,045,204	2,530,417
電子記録債務	662,958	750,476
短期借入金	2,208,000	2,320,500
1年内返済予定の長期借入金	1,040,968	904,960
未払法人税等	174,242	222,894
賞与引当金	281,541	348,779
関係会社整理損失引当金	20,563	26,531
その他	1,049,340	816,632
流動負債合計	7,482,819	7,921,191
固定負債		
長期借入金	1,999,978	2,023,316
長期未払金	156,004	156,004
繰延税金負債	368,708	403,951
役員退職慰労引当金	33,254	27,550
退職給付に係る負債	393,543	352,583
その他	130,869	128,300
固定負債合計	3,082,358	3,091,705
負債合計	10,565,177	11,012,897
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,249,421	2,253,246
利益剰余金	11,159,917	11,398,917
自己株式	△475,187	△556,022
株主資本合計	15,123,111	15,285,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141,871	105,678
為替換算調整勘定	2,697,591	2,301,532
その他の包括利益累計額合計	2,839,463	2,407,210
非支配株主持分	950,700	994,870
純資産合計	18,913,275	18,687,181
負債純資産合計	29,478,453	29,700,079

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	13,429,812	14,216,791
売上原価	10,672,856	11,296,628
売上総利益	2,756,955	2,920,162
販売費及び一般管理費	1,682,114	1,782,321
営業利益	1,074,841	1,137,841
営業外収益		
受取利息	65,933	79,419
受取配当金	3,670	4,274
為替差益	316,746	36,964
助成金収入	4,888	3,557
その他	14,345	12,408
営業外収益合計	405,585	136,624
営業外費用		
支払利息	18,943	15,568
その他	2,672	494
営業外費用合計	21,616	16,063
経常利益	1,458,810	1,258,402
特別利益		
固定資産売却益	1,485	4,341
関係会社整理損失引当金戻入額	20,025	-
補助金収入	3,000	-
特別利益合計	24,510	4,341
特別損失		
固定資産売却損	1,265	4,070
固定資産除却損	9,791	1,793
固定資産圧縮損	3,000	-
関係会社整理損失引当金繰入額	-	5,968
特別損失合計	14,056	11,832
税金等調整前中間純利益	1,469,264	1,250,911
法人税等	320,669	324,072
中間純利益	1,148,594	926,838
非支配株主に帰属する中間純利益	70,442	63,364
親会社株主に帰属する中間純利益	1,078,151	863,473



## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,148,594	926,838
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,577	△36,192
為替換算調整勘定	1,051,585	△415,248
その他の包括利益合計	1,103,163	△451,441
中間包括利益	2,251,758	475,396
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,132,800	431,221
非支配株主に係る中間包括利益	118,957	44,175

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,469,264	1,250,911
減価償却費	725,535	655,884
有形固定資産除却損	9,791	1,793
貸倒引当金戻入額	-	△200
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,139	△154
賞与引当金の増減額(△は減少)	148,259	74,260
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,674	△5,703
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,297	△33,331
受取利息及び受取配当金	△69,604	△83,693
支払利息	18,943	15,568
有形固定資産売却損益(△は益)	△219	△271
売上債権の増減額(△は増加)	△279,812	△872,621
棚卸資産の増減額(△は増加)	12,521	△168,154
仕入債務の増減額(△は減少)	336,193	608,203
未払金の増減額(△は減少)	△98,926	△268,866
未払消費税等の増減額(△は減少)	44,226	△109,120
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	△20,524	5,968
補助金収入	△3,000	-
固定資産圧縮損	3,000	-
その他	4,343	99,152
小計	2,301,824	1,169,624
利息及び配当金の受取額	69,615	83,705
利息の支払額	△19,166	△16,133
法人税等の支払額	△159,671	△252,386
法人税等の還付額	29,072	10,984
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,221,674	995,795
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△316,666	△572,072
定期預金の払戻による収入	531,766	965,332
有形固定資産の取得による支出	△1,488,817	△1,195,054
有形固定資産の売却による収入	3,003	8,887
無形固定資産の取得による支出	△9,964	△51,523
補助金の受取額	3,000	-
その他	△25,376	18,370
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,303,054	△826,059
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△503,500	100,000
長期借入れによる収入	1,100,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△558,473	△612,670
自己株式の取得による支出	△112	△83,494
配当金の支払額	△465,868	△625,911
非支配株主への配当金の支払額	△18,016	△108,450
その他	△8,181	△10,336
財務活動によるキャッシュ・フロー	△454,151	△840,863
現金及び現金同等物に係る換算差額	608,253	△262,922
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,072,722	△934,050
現金及び現金同等物の期首残高	8,026,141	8,334,651
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,098,863	7,400,601

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

海外連結子会社の税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報)

## I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,840,979	440,267	148,565	13,429,812	—	13,429,812
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,155	23,950	—	40,105	△40,105	—
計	12,857,135	464,217	148,565	13,469,917	△40,105	13,429,812
セグメント利益又は損失(△)	1,092,305	△29,504	12,039	1,074,841	—	1,074,841

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,528,120	447,296	241,374	14,216,791	—	14,216,791
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,958	51,318	—	58,277	△58,277	—
計	13,535,079	498,615	241,374	14,275,068	△58,277	14,216,791
セグメント利益又は損失(△)	1,046,184	△4,441	96,098	1,137,841	—	1,137,841

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

## (連結範囲の変更を伴う子会社株式の譲渡)

当社は、2024年10月29日付で、当社の連結子会社であるタチバナ精機株式会社の発行済株式のうち、当社が保有する全ての株式を向陽技研株式会社に譲渡することを決定し、譲渡いたしました。なお、本株式譲渡に伴いタチバナ精機株式会社は当社の連結子会社から外れることとなります。

## (1) 株式譲渡の理由

当社の経営資源を自社の主要なプラスチック事業に集中させ、競争力を高めるとともに、また今後、タチバナ精機株式会社の一層の成長を実現していくため、向陽技研株式会社へ本株式譲渡を行うことを決議いたしました。

## (2) 株式売却の相手先の名称

向陽技研株式会社

## (3) 譲渡の時期

意思決定日	2024年10月29日
契約締結日	2024年10月29日
株式譲渡実行日	2024年10月29日

## (4) 譲渡する子会社の概要

名称	タチバナ精機株式会社
事業内容	精密プレス部品の製造販売
資本金	19,800千円

## (5) 譲渡株式数、譲渡価額、譲渡損益及び譲渡後の持分比率

譲渡株式数	39,600株(議決権所有割合:100%)
譲渡価額	600,019千円
譲渡損益	2025年3月期第3四半期連結会計期間において、関係会社株式売却損(特別損失)を113,547千円(概算)計上する見込み
譲渡後の持分比率	0株(議決権所有割合:0%)